

News Release

2013年9月24日

人材サービス企業向け ミドル層の転職支援ツール 「ミドルマッチフレーム」展開のお知らせ

民間人材サービスの業界団体からなる人材サービス産業協議会(事務局:東京都千代田区、理事長:中村恒一、略称「JHR」)は、異業種、異職種への転職が比較的難しいとされてきた40代から50代の転職を、従来とは違った評価基準を用いることで年齢にとらわれない転職を実現するツール「ミドルマッチフレーム」を、10月より人材紹介サービス各社に展開しますのでお知らせします。

■ 「ミドルマッチフレーム」開発のきっかけ

ミドル層における異なる産業・職業への転職は従来実現が難しく、適応するまでに企業・本人双方にギャップが発生しがちでした。しかし産業構造の変化や職業寿命の長期化により、ミドル層のスムーズな労働移動は社会的ニーズとなっており、人材サービス産業として最優先に取り組むべき課題としていました。

そのため JHR では、昨年 10 月の協議会発足と同時にこのミドル層の転職を課題にした「キャリアチェンジプロジェクト」を立ち上げ、業界関係者や学識有識者、関係省庁と連携の上、課題解決に向けて取り組んできました。その成果として、ミドル層の転職支援ツール「ミドルマッチフレーム」を今年 7 月に開発し、一部人材紹介サービス会社にて試験運用後、この度全国的に展開することとなりました。

■ 「ミドルマッチフレーム」の特徴

従来ミドル層の転職では、「専門知識」や「専門技術」などが主に着目されていました。しかし異なる産業・職業への転職機会が増える中、「仕事の仕方」や「人との関わり方」といったミドルだからこそ培われているポータブルな能力を可視化し適切に評価することを「ミドルマッチフレーム」では提案しています。

また併せて、新しい職場への「適応の仕方」や適応しやすい「職場の特徴」も評価基準に据えることで、ミスマッチを緩和し、入社後より活躍できるように配慮した評価ツールになっています。

■ 今後の展開について:10/23(水)シンポジウム開催

求人企業向けに、ミドル層の採用の優位性を知っていただくためのシンポジウムを、10月23日(水)に開催します(3頁参照)。また、「ミドルマッチフレーム」を採用する人材紹介サービス会社の拡大を図るべく、一般社団法人人材紹介事業協会等との業界団体とも連携を図り、一人でも多くのミドル層のキャリアマッチングに貢献すべく、活動を行っていきます。

【「ミドルマッチフレーム」概要】

正式名称: MIDDLE MATCH FRAME

内 容: 若年層の採用とは違う、ミドル層ならではの経験によって培われた能力をよりよく見極めることで、求人企業と求職者のマッチングを促進させる評価ツール。

展開対象: 人材紹介サービス企業

本件に関するお問合せ先
一般社団法人人材サービス産業協議会 事務局 広報担当
お問い合わせフォームは[こちら](#)です

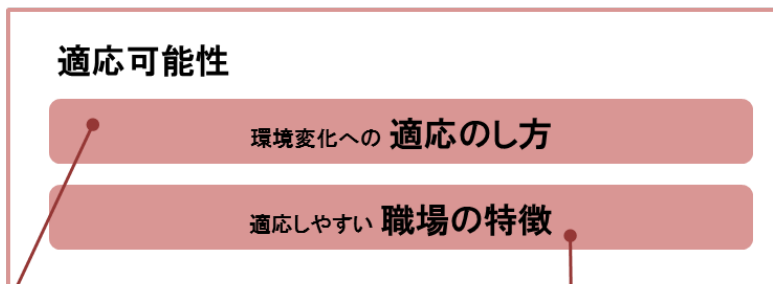
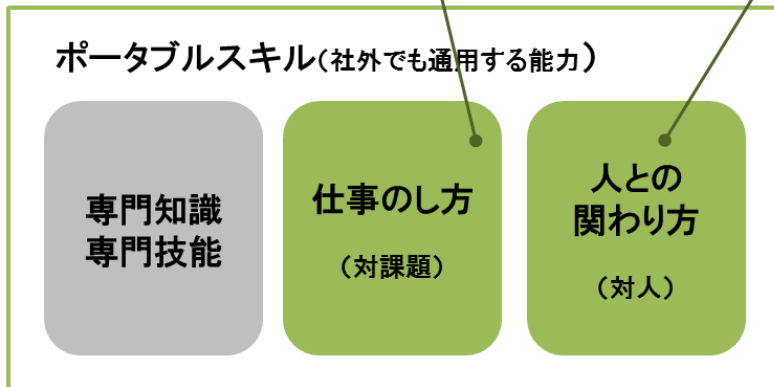
【ミドルマッチフレーム全体像】

【仕事の仕方】の観点

1. 現状の把握
取り組むべき課題やテーマを設定するために行う
情報収集やその分析の仕方
2. 課題の設定
事業、商品、組織、仕事の進め方などの取り組む
べき課題の設定の仕方
3. 計画の立案
担当業務や課題を遂行するための具体的な計画
の立て方
4. 課題の遂行
スケジュール管理や各種調整、業務を進めるうえ
での障害の排除や高いプレッシャーの乗り越え方
5. 状況への対応
予期せぬ状況への対応や責任の取り方

【人との関わり方】の観点

1. 社外対応
顧客・社外パートナー等に対する納得感の高いコ
ミュニケーションや利害調整、合意形成の仕方
2. 社内対応
経営層・上司・関係部署に対する納得感の高いコ
ミュニケーションや合意形成の仕方
3. 部下マネジメント
メンバーの動機づけや育成、持ち味をいかした 業務
の割り当ての仕方



【適応の仕方】の観点

1. 指示を待つのではなく、自らの意思で積極的に行動する
2. 何事も前向きに受けとめ、建設的に考えようとする
3. 人に対して開放的、素直で、親しみを感じられる
4. 謙虚に他者の意見に耳を傾ける
5. 環境変化を受け入れ、変化することを恐れない

【職場の特徴】の観点

1. 組織で重視される価値観
2. 組織における仕事の進め方の特徴
3. 組織における対人関係の特徴

【参考情報:求人企業向け関連セミナー】

名 称:雇用改革時代における人材活用のこれから
—経営課題解決に有効な“ミドルのチカラ”をいかにして活用するか—

日 時:2013年10月23日(水)14:00~17:00

場 所:リクルートGINZA8ビル 11階ホール(東京都中央区銀座8-4-17)

プログラム:

1. 基調講演「求められる人材活用のパラダイムシフト」
学習院大学 経済学部 教授 今野 浩一郎氏
2. 講演「産業政策・労働政策にみるミドル層の労働移動支援」
経済産業省 経済産業政策局 奈須野 太氏
厚生労働省 職業安定局 松原 哲也氏(仮)
3. プレゼンテーション「ミドル採用における新たなフレームワークのご紹介とその可能性」
一般社団法人人材サービス産業協議会 副理事長 高橋 広敏
4. パネルディスカッション「ミドルのチカラを活かす採用・人材活用の在り方とは」
<プレゼンター／パネリスト>
株式会社サイゼリヤ 取締役 人事開発部長 長岡 伸氏
ナゴヤパッキング製造株式会社 経営企画室・アジア事業開発室 室長 小寺 一輝氏
株式会社リクルートキャリア 代表取締役社長 水谷 智之氏
<ファシリテーター>
学習院大学 経済学部 教授 今野 浩一郎氏

参加費:無料

※マスコミの方で取材希望の方は、1ページ目「本件に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

● 一般社団法人 人材サービス産業協議会について

正式名所	一般社団法人 人材サービス産業協議会
英語表記	Japan Association of Human Resource Services Industry
略称	JHR
所在地	〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-6-9 雄山閣ビル3階
WEB サイトアドレス	http://www.j-hr.or.jp
理事	<p>【理事長】 中村 恒一（全求協 常任委員長・リクルートホールディングス）</p> <p>【副理事長】 高橋 広敏（派遣協 副会長・インテリジェンス）</p> <p>【理事】 青木 秀登（技能協 理事・ランスタッド） 家中 隆（派遣協 会長・東京海上日動キャリアサービス） 牛嶋 素一（NEOA 副代表理事・アルプス技研） 今野浩一郎（学習院大学経済学部 教授） 大久保幸夫（リクルートワークス研究所 所長） 佐々木和行（人材協 会長・トランサーチインターナショナル） 佐藤 博樹（東京大学大学院 教授） 清水 竜一（技能協 会長・日総工産） 鈴木 孝二（全求協 理事・エン・ジャパン） 西本 甲介（NEOA 代表理事・メイテック） 戸苅 利和（法政大学大学院 客員教授） 水谷 智之（人材協 副会長・リクルートキャリア）</p>
監事	<p>安西 愈（安西法律事務所） 岡芹 健夫（高井・岡芹法律事務所）</p>
主な活動内容	<p>(1) 労働市場における諸課題についての情報収集・調査、研究、審議、施策立案</p> <p>(2) 前号に関する情報発信並びに施策実現に向けた普及啓発活動及び関係者との意見交換</p> <p>(3) 会員の相互交流及び研鑽</p> <p>(4) その他、この法人の目的達成に必要な事業</p>
設立日	2012年10月1日

全求協・・・公益社団法人 全国求人情報協会、人材協・・・一般社団法人 日本人材紹介事業協会
派遣協・・・一般社団法人 日本人材派遣協会、技能協・・・一般社団法人 日本生産技能労務協会
NEOA・・・日本アウトソーシングエンジニアリング協会